

2024(令和 6)年度事業報告 附 属 明 細 書

自 2024 年 4 月 01 日
至 2025 年 3 月 31 日

公益財団法人 日中医学協会

目 次

常任理事会（業務執行理事会）の開催	1
[1] 事業報告	
ア 研究助成事業	2
1. 日中笹川医学協力プロジェクト：日中笹川医学奨学金制度	
2. 共同研究等助成事業	
3. 中国人医師・研究者招聘事業	
イ 学術会議開催事業	8
1. 主催事業	
2. 共催事業	
ウ 医療協力事業	9
1. 日中笹川医学協力プロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業	
2. 医療の国際化に係わる事業	
3. 専門家派遣事業	
4. 医療関連訪日団等招請事業	
5. 北京華通国康基金会との事業提携	
6. 会員訪中団派遣事業	
7. 中国訪日団の日中医学協会表敬訪問	
8. 日本財団母乳バンクへの協力	
9. 中華人民共和国成立 74 周年・日中平和友好条約締結 45 周年レセプションへの出席	
エ 広報事業	19
1. 機関誌『日中医学』の発行	
2. 日中間の医学・医療交流に関する情報発信の強化	
3. Asian Pacific Journal of Dentistry への協力	
4. 『日中医学』誌の今後の在り方検討	
[2] 委員会開催報告	19
1. 広報委員会	
2. 日中医療交流（内視鏡等）委員会	
3. 共同研究等選考委員会	
4. 日中医学（日本財団－日中医学協会）協力委員会	
[3] 総務報告	20
I 中国国家衛生健康委員会等との協議	
II 財務基盤の拡充	
A. 会員拡大	
B. 募金活動	
C. 日本財団に対する助成金申請	
III 協会運営に係る事項	
A. 副会長の辞任に伴う補欠選任	
B. 神田税務署による税務調査	
C. 業務の適正を確保するための体制等の整備	
【資料】	22
1. 日中笹川医学奨学金制度＜学位取得コース＞研究者（第 42 期～46 期）	
2. 日中笹川医学奨学金制度＜共同研究コース＞研究者（第 45 期、46 期）	
3. 日中笹川医学奨学金制度＜ポストドクターコース＞研究者（第 45 期、46 期）	
4. 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第 9 期研修生	
5. 日中医学協会役員・委員会委員名簿	

常任理事会（業務執行理事会）の開催

開催年月日	議事事項	会議の結果
2024. 05. 09	公益第 40 回（第 273 回）常任理事会 [ZOOM WEB 会議] ○ 釜范敏氏の第 27 回参議院議員通常選挙の推薦について ○ 公益第 50 回理事会議案について ○ その他 ① 「日中医学交流会議 2024 中国」の開催時期について ② 日中医学協会設立 40 周年記念事業（2025 年度）開催時期について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2024. 11. 18	公益第 41 回（第 274 回）常任理事会 [ZOOM WEB 会議] ○ 公益第 52 回理事会議案について ○ 神田税務署による税務調査について ○ 2024 年年末寄附金の募集実施について ○ その他 ① 日中医学協会設立 40 周年記念事業（2025 年度）実施方法について ② 「日中医学交流会議 2025」の開催について ③ 日本財団助成金「基盤整備費」の拡充について ④ 日本看護協会との事業協力について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2025. 02. 20	公益第 42 回（第 275 回）常任理事会 [ZOOM WEB 会議] ○ 公益第 53 回理事会議案について ○ 日本財団から求められている日中医学協会中長期事業計画案（自主事業）について ○ その他 ① 雷海潮中国国家卫生健康委员会主任から提案の笹川医学奨学金専門人材育成事業（構想）について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承

常任理事会の構成

会長（代表理事）	小川 秀興
理事長（代表理事）	跡見 裕
理事・副会長	安達 勇
業務執行理事	新井 一
業務執行理事	尾身 茂
業務執行理事	春日 雅人
業務執行理事	日比 紀文

代表理事が出席を求める監事

監事	三宅 養三
監事	金井 正義（公認会計士）

[1] 事業報告の明細

ア 研究助成事業

1. 日中笹川医学協力プロジェクト：日中笹川医学奨学金制度（日本財団助成事業）

2024年度は、COVID-19感染拡大により来日が遅れていた第五次制度研究者への助成を行うと共に、第六次制度の第1期生となる第45期研究者の招請と、第46期研究者の募集・選考を行った。

第六次制度の実施・運営は第五次制度同様、日中医学協会と笹川医学奨学金進修生同学会（本制度研究者OB会、以下「笹川同学会」）が担う。

A. 学位取得コース

1) 第42期研究者＜学位取得コース＞

2020年度研究者（第五次制度第3期）。

研究者数：8名（名簿後掲）

（合格者10名のうち大学院入試で不合格だった1名の研究者資格を取り消した。また、1名がCOVID-19感染拡大のため中国所属機関の出国許可が得られず辞退した）

助成期間：入国年から2年間

（1年目の助成終了時に2年目助成支給継続可否を判定する中間評価を実施）

(1) 来 日

2019年4月2日に募集を開始し、9月14日の面接試験を経て10名が合格したが、COVID-19感染拡大の影響で、2020年度中に大学院に入学した者は6名、2021年度中に大学院に入学した者は2名であった。

2020年度からの助成対象者（6名）：

趙景敏 福島県立医科大学大学院医学研究科
焦丹丹 筑波大学大学院人間総合科学研究科
張碧航 自治医科大学大学院医学研究科
劉 霄 慶應義塾大学大学院医学研究科
孟華川 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科
翟 達 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

2021年度からの助成対象者（2名）：

徐詩婷 順天堂大学大学院医学研究科

和晋渝 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科

(2) 博士学位取得者

2025年3月までに8名全員が博士学位を取得した。

- ・劉 霄（陸軍軍医大学西南医院）
取得大学：慶應義塾大学
学位形態：課程博士（医学）
取得年月：2022年3月
- ・孟華川（中日友好医院）
取得大学：国際医療福祉大学
学位形態：課程博士（医療福祉経営学）
取得年月：2023年3月
- ・焦丹丹（河南科技大学第一附属医院）
取得大学：筑波大学
学位形態：課程博士（医学）
取得年月：2023年3月
- ・翟 達（長崎大学大学院）
取得大学：長崎大学
学位形態：課程博士（医学）
取得年月：2023年3月
- ・和晋渝（重慶市CDC）
取得大学：長崎大学
学位形態：課程博士（グローバルヘルス）
取得年月：2023年9月
- ・趙景敏（吉林大学中日聯誼医院）
取得大学：福島県立医科大学
学位形態：論文博士（医学）
取得年月：2024年3月
- ・張碧航（中南大学湘雅医院）
取得大学：自治医科大学
学位形態：課程博士（医学）
取得年月：2024年3月
- ・徐詩婷（遼寧省腫瘍医院大東医院）
取得大学：順天堂大学
学位形態：論文博士（医学）
取得年月：2025年1月

2) 第 43 期研究者<学位取得コース>

2021 年度研究者（第五次制度第 4 期）。

研究者数：10 名（名簿後掲）

助成期間：入国年から 2 年間

（1 年目の助成終了時に 2 年目助成支給継続可否を判定する中間評価を実施）

(1) 来 日

2020 年 4 月 1 日に募集を開始し、10 月 17 日の面接試験を経て 10 名が合格したが、COVID-19 感染拡大の影響で、2021 年度中に大学院に入学した者は 3 名、2022 年度中に大学院に入学した者は 7 名であった。

2021 年度からの助成対象者（3 名）：

姚 利 千葉大学大学院看護学研究科

張茂芮 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

王 喻 京都大学大学院医学研究科

2022 年度からの助成対象者（7 名）：

範 彬 北海道大学大学院医学研究院

趙 雪 千葉大学大学院医学研究院

江 傑 日本医科大学大学院医学研究科

王 晴 順天堂大学大学院医学研究科

張 瑛 横浜市立大学大学院医学研究科

葉 盛 奈良県立医科大学大学院医学研究科

孔徳川 熊本大学大学院医学教育部

(2) 第三年次助成（日中医学協会助成）

公益第 27 回理事会（2019 年 12 月 9 日）に於いて、共同研究等助成事業の休止し、休止期間中の財源（会費）を日中笹川医学奨学金制度<学位取得コース>研究者に対する奨学金支給終了後 3 年目の助成原資として活用することが承認された（上限 600 万円）。これに基づき、2024 年度は第三年次となる 6 名に対し、以下の通り助成金を支給した。

支給対象者：6 名（2022 年度からの助成対象者）

支 給 額：5 万円/月

支 給 期 間：第三年次該当年度（上限 12 か月）

(3) 博士学位取得者

2025 年 3 月までに 5 名が博士学位を取得した。

・姚 利（千葉大学大学院）

取得大学：千葉大学

学位形態：課程博士（看護学）

取得年月：2023 年 3 月

・張茂芮（西南医科大学附属口腔医院）

取得大学：東京医科歯科大学

学位形態：課程博士（歯学）

取得年月：2024 年 3 月

・王 晴（中国医科大学附属第四医院）

取得大学：順天堂大学

学位形態：論文博士（医学）

取得年月：2024 年 3 月

・範 彬（貴州医科大学附属医院）

取得大学：北海道大学

学位形態：課程博士（医学）

取得年月：2025 年 3 月

・張 瑛（寧波市医療センター李惠利医院）

取得大学：横浜市立大学

学位形態：課程博士（医学）

取得年月：2025 年 3 月

・孔徳川（上海市疾病予防コントロールセンター）

取得大学：熊本大学

学位形態：課程博士（医学）

取得年月：2025 年 3 月

3) 第 44 期研究者<学位取得コース>

2022 年度研究者（第五次制度最終期）。

研究者数：11 名（名簿後掲）

助成期間：2022 年 4 月から 2 年間

（2023 年 3 月に 2 年目助成支給継続可否を判定する中間評価を実施）

(1) 来 日

2021 年 2 月 20 日に募集を開始し、10 月 16 日の面接試験を経て 11 名が合格し、2022 年度内に全員が入国した。

(2) 第三年次助成（日中医学協会助成）

2024 年度は第三年次となる 6 名に対し、以下の通り助成金を支給した。

支給対象者：6 名

支給額：5 万円/月

支給期間：第三年次該当年度（上限 12 か月）

(3) 博士学位取得者

2025 年 3 月までに 6 名が博士学位を取得した。

- ・楊 勇（懷化市第一人民医院）

取得大学：千葉大学

学位形態：課程博士（医学）

取得年月：2023 年 3 月

- ・徐 勇（長崎大学大学院）

取得大学：長崎大学

学位形態：課程博士（医学）

取得年月：2023 年 9 月

- ・陳曹傑（慶應義塾大学大学院）

取得大学：慶應義塾大学

学位形態：課程博士（医学）

取得年月：2024 年 3 月

- ・周 英（金沢大学大学院）

取得大学：金沢大学

学位形態：課程博士（学術）

取得年月：2024 年 3 月

- ・李佩霖（長崎大学大学院）

取得大学：長崎大学

学位形態：課程博士（医学）

取得年月：2024 年 9 月

- ・馬 快（大阪大学大学院）

取得大学：大阪大学

学位形態：課程博士（医学）

取得年月：2025 年 3 月

4) 第 45 期研究者＜学位取得コース＞

2024 年度研究者（第六次制度第 1 期）。

研究者数：10 名

助成期間：2024 年 4 月から 3 年間

（2025 年 3 月に助成継続可否を判定する中間評価を実施）

(1) 認定式の開催

開催日：2024 年 4 月 19 日（金） 14:30～17:30

形式：会場をメインとしたハイブリッド形式

会場：日本財団ビル 大会議室

出席者：138 名

会場出席 82 名、オンライン出席者 19 名、
オンライン視聴者 37 名

概要：

学位取得コース 10 名、ポストドクターコース 10 名に対し、跡見裕理事長が本制度研究者認定証を授与した。また、研究者が博士学位取得／研究成果獲得に向けての決意を述べ、指導教官が激励の言葉を述べた。

第 43 期・44 期＜学位取得コース＞研究者修了式を併催した。

(2) 中間評価

10 名の研究者に対する 2 年次以降の助成可否について、2025 年 3 月に書面審査による中間評価を行った。

評価者：日中医学（日中医学協会－日本財団）
協力委員会

概要：中間評価書（指導教官提出）と中間報告書（研究者提出）をもとに博士学位取得の可能性等を判定し、助成の継続に相応しいか評価を行った。

結果：10 名とも助成継続が承認された。

5) 第 46 期研究者＜学位取得コース＞

2025 年度研究者（第六次制度第 2 期）。

研究者数：10 名

助成期間：2025 年 4 月から 3 年間

（2026 年 3 月に助成継続可否を判定する中間評価を実施）

(1) 募集

2024 年 5 月 17 日付で中国国家衛生健康委員会から中国各省衛生庁等関係先に募集通知が発状された。募集締切日は 9 月 28 日。

(2) 選 考

形 式：日中合同面接による選考

開催日：2024 年 10 月 12 日(土)

会 場：長富宮飯店（北京）

選考員：高松 研 共同研究等選考委員会委員長、
東邦大学名誉学長
大友克之 共同研究等選考委員会委員、
朝日大学学長
安井正人 共同研究等選考委員会委員、
慶應義塾大学医学部薬理学教授
山本康次郎 共同研究等選考委員会委員、
群馬大学大学院医学系研究科
臨床薬理学教授
趙 群 笹川同学会理事長、
審査専門家委員会委員長
(第 10 期笹川生)
張 軍 笹川同学会審査専門家委員会委員
西安交通大学第二附属医院
消化器内科主任医師、教授
(第 18 期笹川生)
郁 琦 笹川同学会審査専門家委員会委員
北京協和医院婦産科主任医師、
教授 (第 22 期笹川生)
孟召偉 笹川同学会審査専門家委員会委員
天津医科大学総医院核医学科
主任医師、教授
(第 30 期笹川生・第 40 期
＜共同研究コース＞)

選考方法：「第 46 期面接試験採点基準（学位取得
コース）」に従い、学位取得の可能性
を総合評価した。選考方針は、応募者
の学位取得の可能性について「国際的
な学術誌への掲載や受賞歴があるなど
一定の研究業績があり、本制度により
博士学位取得の見込みがあると認めら
れるか、研究者としての成熟度が認め
られるか」を総合評価の基本とし、応
募者の申請書面および面接結果に基づ
き可否判定を行った。

応募者：11 名（内 8 名は日本の大学院在籍中）

結 果：合格者 10 名（名簿後掲）

備 考：面接試験合格者であっても大学院試験が
不合格であった場合は資格取消とする。

(3) 訪日前実施事業

① 日本語研修（笹川同学会主催）

期 間：2024 年 11 月 18 日(月)～2025 年 1 月 24 日(金)

場 所：中国医科大学公共教育棟日本語研修室
(遼寧省瀋陽市)

形 式：対面・オンライン授業

受講者数：10 名（日本語未修者）

② オリエンテーション（協会・笹川同学会合同開催）

実施日：2024 年 11 月 24 日(土)

形 式：オンライン形式

内 容：訪日準備、日本滞在中に関する事項の説明

③ 結団式（笹川同学会主催）

実施日：2025 年 3 月 7 日(金)

会 場：長富宮飯店（北京市）

備 考：訪日前結団式に際し、中国国家衛生健
康委員会内会議室において、国家衛生
健康委員会と面談した。

B. 共同研究コース

1) 第 45 期研究者＜共同研究コース＞

2024 年度研究者（第六次制度第 1 期生）。

研究者数：3 チーム及び 7 名

助成期間：2024 年度内最長 6 か月間

(1) 共同研究者集会の開催

開催日：2024 年 9 月 4 日(水) 14:30～17:40

形 式：会場をメインとしたハイブリッド形式

会 場：日本財団ビル 大会議室

出席者：76 名

会場出席 64 名、オンライン視聴者 12 名

概 要：

林崎良英日中医学（日中医学協会－日本財団）

協力委員会委員長が座長となり、第 45 期研究
者とその日本側共同研究者計 9 組が共同研究の

内容について発表し、活発な質疑応答が行われた。どの研究発表も最新の技術、知見を取り入れた独自性に富む内容で、座長から「①昨年の研究発表に比して質、レベルともに上がっている、②来日を目的とする研修から日中対等の共同研究へと発展してきている、③共同研究を通じて日中両国の研究者同士の連携を強くし、研究室同士の研究継続が期待される」との総括コメントがあった。

4) 第46期研究者＜共同研究コース＞

2025年度研究者（第六次制度第2期生）。

研究者数：9チーム及び個人3名

助成期間：2025年度内最長6か月間

(1) 募 集

2024年5月17日付で中国国家卫生健康委員会から中国各省衛生庁等関係先に募集通知が発状された。募集締切日は9月28日。

(2) 選 考

形 式：日中双方の選考委員会において審査を行い、双方の審査結果をもとに合格者を決定した。

実施日：2024年11月8日(金)

選 考：日本側：共同研究等選考委員会

中国側：笹川同学会審査専門家委員会

選考方法：「第446期選考採点基準（共同研究コース）」に従い選考した。

応募者：25名（チーム申請14名、個人申請11名）

結 果：合格者12名（9チーム及び個人3名）
（名簿後掲）

(3) 訪日前実施事業

① 日本語研修（笹川同学会主催）

期 間：2024年11月18日(月)～2025年1月24日(金)

場 所：中国医科大学公共教育棟日本語研修室
（遼寧省瀋陽市）

形 式：対面・オンライン授業

受講者数：6名（日本語未修者）

② オリエンテーション（協会・笹川同学会合同開催）

実施日：2024年11月24日(土)

形 式：オンライン形式

内 容：訪日準備、日本滞在中に関する事項の説明

③ 結団式（笹川同学会主催）

実施日：2025年3月7日(金)

会 場：長富宮飯店（北京市）

備 考：訪日前結団式に際し、中国国家卫生健康委員会内会議室において、国家卫生健康委員会と面談した。

C. ポストドクターコース【第六次制度で新設】

1) 第45期研究者＜ポストドクターコース＞

2024年度研究者（第六次制度第1期）。

研究者数：10名

助成期間：2024年4月から2年間

（2025年3月に助成を継続するか中間評価実施）

(1) 認定式の開催

2024年4月19日(金)に日本財団ビルで第45期＜学位取得コース＞研究者の認定式と併催した。

(2) 中間評価

10名の研究者に対する2年次助成の可否について、2025年3月に書面審査による中間評価を行った。

評価者：日中医学（日中医学協会－日本財団）
協力委員会

概 要：中間評価書（指導教官提出）と中間報告書（研究者提出）をもとに研究成果の獲得の可能性等を判定し、助成の継続に相応しいか評価を行った。

結 果：2025年3月に日本の医師免許を取得した1名はポストドク研究の継続ができな
いため助成の支給を停止し、残りの9
名は助成継続が承認された。

2) 第46期研究者＜ポストドクターコース＞

2025年度研究者（第六次制度第2期）。

研究者数：10名

助成期間：2025 年 4 月から 2 年間
(2026 年 3 月に助成を継続するか中間評価実施)

康委員会内会議室において、国家衛生健康委員会と面談した。

(1) 募 集

2024 年 5 月 17 日付で中国国家衛生健康委員会から中国各省衛生庁等関係先に募集通知が発状された。募集締切日は 9 月 28 日。

(2) 選 考

開催日：2024 年 10 月 12 日(土)

(学位取得コースと同日実施)

会 場：長富宮飯店（北京）

選 考：学位取得コースに同じ

選考方法：「第 46 期面接試験採点基準（ポストドクターコース）」に従い、応募者が「国際的な学術誌への掲載や受賞歴があるなど一定の研究業績があり、研究者としての成熟度が認められるか」を総合評価の基本とし、応募者の申請書面および面接結果に基づき合否判定を行った。

応募者：7 名（内 1 名は日本在住者）

結 果：合格者 7 名（名簿後掲）

(3) 訪日前実施事業

① 日本語研修（笹川同学会主催）

期 間：2024 年 11 月 18 日(月)～2025 年 1 月 24 日(金)

場 所：中国医科大学公共教育棟日本語研修室
(遼寧省瀋陽市)

形 式：対面・オンライン授業

受講者数：7 名（日本語未修者）

② オリエンテーション（協会・笹川同学会合同開催）

実施日：2024 年 11 月 24 日(土)

形 式：オンライン形式

内 容：訪日準備、日本滞在中に関する事項の説明

③ 結団式（笹川同学会主催）

実施日：2025 年 3 月 7 日(金)

会 場：長富宮飯店（北京市）

備 考：訪日前結団式に際し、中国国家衛生健

D. 日中笹川医学プロジェクト第六次実施要項の締結

2024 年 3 月に、第六次制度の実施・運営を担う日中医学協会と笹川同学会の間で、第六次協定書に基づく実施要項を定め、調印した。

2. 共同研究等助成事業

1) 共同研究助成事業/若手日本在留中国人研究者助成事業

本事業と日中笹川医学奨学金制度との整合性を図るため、2024 年度も事業を休止した。

3. 中国人医師・研究者招聘事業

1) 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト

中国の内視鏡医と病理医がペアで来日し、日本で研修を受けることで、先進医療技術を修得するとともに、消化器内視鏡医と病理医の連携に関する理念を理解する。これを中国での実践に活かして消化器早期がん診断能力を向上させるとともに、両国交流と協力を促進することを目的とする。

本プロジェクトの実施・運営は、日中医学協会、中国国家衛生健康委員会国際交流センターが担う。

(2018 年 12 月 25 日第二次プロジェクト協定書調印)

(1) 第 9 期生招請

招請期間：2025 年 1 月 22 日(水)～2 月 20 日(木)

研修生：中国 6 病院合計 12 名（名簿後掲）

派遣機関：中国医学科学院肿瘤医院、中国人民解放军总医院第一医学センター、中日友好医院、空軍軍医大学第一附属医院、浙江大学医学院附属第一医院、黒龍江省医院

研修機関：順天堂大学医学部附属順天堂医院、慶

應義塾大学病院、東邦大学医療センター大森病院、がん研究会有明病院、静岡県立静岡がんセンター、東京大学医学部附属病院

備考：招請期間中に、

- ①内視鏡医・病理医合同研修（講義）、
- ②内視鏡医研修（ハンズオン研修）、
- ③病理医研修（集中講義）、④研修報告会、⑤研修修了証授与式を行った。

イ 学術会議開催事業

1. 主催事業

1) 「日中医学交流会議 2024」（開催延期）

中華医学会との共同で開催する学術シンポジウム「日中医学交流会議 2024 中国・長沙」が延期となり、「日中医学交流会議 2025」として 2025 年 9 月に中国・山東省青島市で開催することが決定した。本シンポジウムは「中華医学会感染症学術大会（年次総会）」の会期中に開催され、開催に向けて日本側座長・演者の手配等の準備を進めた。

2. 後援事業

1) 第 3 回日中看護学国際シンポジウム

順天堂大学の依頼を受け、後援名義の付与を行った。

テーマ：看護教育がパンデミックから学んだもの

開催日：2024 年 6 月 29 日(土)

会 場：順天堂大学 7 号館 小川秀興講堂

主 催：順天堂大学、中国医科大学

協 力：北京大学、四川大学、中国医科大学、
中日友好医院

後 援：日中医学協会

内 容：特別講演（8 演題）、ポスター発表
（57 演題）

ウ 医療協力事業

1. 日中笹川医学協力プロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会(笹川同学会)事業（日本財団助成事業）

笹川同学会事業に日本人専門家を派遣する等、笹川同学会活動に対する支援を行った。

1) 研修事業

(1) 短期診療技術・技能研修——腹腔鏡

期 間：2024年6月26日(水)～27日(木)

場 所：ハルビン市第一医院（黒竜江省ハルビン市）

実施責任者：

李曉陽 ハルビン市第一医院副院長（第8期生）

受講者：会場32名、オンライン約2,000名

黒龍江省の県レベルの病院に勤務する外科医

研修内容：

ハルビン市第一医院の講師陣による講義と手術手技指導

(2) 短期診療技術・技能研修——内視鏡

期 間：2024年7月6日(土)

場 所：中国医科大学附属盛京医院（遼寧省瀋陽市）

実施責任者：

趙 群 中国医科大学附属盛京医院教授、
中国医師協会副会長（第10期生）

受講者：60名

遼寧省の県レベルの病院に勤務する外科医

研修内容：

中国医科大学附属盛京医院の講師陣による講義と手技指導

(3) 短期診療技術・技能研修——高血圧予防・治療

期 間：2024年9月7日(土)

場 所：新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センター（新疆ウイグル自治区ウルムチ市）

実施責任者：

李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センター長、新疆高血圧研究所所長
（第7期生・第40期生＜共同研究コース＞）

受講者：231名

新疆ウイグル自治区の県レベルの病院に勤務する内科医

研修内容：

新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センターの講師陣による講義

(4) 短期診療技術・技能研修——農村医師レベルアップ

期 間：2024年9月12日(木)～14日(土)

場 所：雲南省徳宏州

実施責任者：

李 松 昆明医科大学学長（第8期生）

受講者：200名

雲南省徳宏州の病院に勤務する医師

研修内容：

昆明医科大学の講師陣による講義と実地指導

(5) 短期診療技術・技能研修——消化器疾患

【専門家派遣支援】

期 間：2024年9月21日(土)～22日(日)

場 所：中日友好医院（北京市）

実施責任者：

孟華川 中日友好医院国際交流室日本プロジェクト主幹（第42期生＜学位取得コース＞）

受講者：100名

北京近郊の医療従事者、中日友好医院医師・看護師

研修内容：

日本側専門家による講義、中日友好医院の講師陣による講義

講義：

岡田唯男 亀田ファミリークリニック館山院長
「日本における市中肺炎（CAP）管理モデルの紹介」

(6) 短期診療技術・技能研修——産婦人科

期 間：2024年11月28日(木)～29日(金)

場 所：北京協和医院（北京市）

実施責任者：

孫大為 北京協和医院産婦人科教授（第10期生）

受講者：61名

内モンゴル自治区、チベット自治区、湖南省、
黒龍江省の県レベルの病院に勤務する医師

研修内容：

北京協和医院産婦人科の講師陣による講義と
手術手技指導

(7) 中長期診療技術・技能研修——中医学

期 間：2024年10月～2025年3月

場 所：黒龍江中医薬科学研究院（黒龍江省ハ
ルビン市）

実施責任者：

李頌筑 黒龍江中医薬科学研究院教授（第9期生）

受講者：2名

ハルビン一辰医院中医科医師、大興安嶺地区
中医医院医師

研修内容：

中医学の臨床研修

(8) 中長期診療技術・技能研修——中医学

期 間：2024年10月～2025年3月

場 所：江蘇省中医院（江蘇省南京市）

実施責任者：

孫 偉 江蘇省中医院腎内科教授（第18期生）

受講者：2名

貴州省遵義市中医院腎内科医師、重慶市奉節県
中医院腎内科医師

研修内容：

中医学の臨床研修

(9) 中長期診療技術・技能研修——産婦人科

期 間：2024年10月～2025年3月

場 所：北京協和医院（北京市）

実施責任者：

孫大為 北京協和医院婦産科教授（第10期生）

受講者：2名

チベット自治区人民医院婦産科医師、内モン
ゴル自治区フフホト市第一医院婦産科医師

研修内容：

産婦人科の臨床研修

(10) 中長期診療技術・技能研修——高血圧予防・治療

期 間：2024年10月～2025年3月

場 所：新疆ウイグル自治区人民医院高血圧セン
ター（新疆ウイグル自治区ウルムチ市）

実施責任者：

李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血圧
センター長、新疆高血圧研究所所長
（第7期生・第40期生＜共同研究コース＞）

受講者：2名

ウルムチ市水磨沟区人民医院医師、阿克蘇市
人民医院医師

研修内容：

高血圧予防・治療の臨床研修

2) 日中笹川医学奨学金制度＜共同研究コース＞

研究者成果報告会【専門家派遣支援】

概 要：日本での共同研究を終え帰国した研究
者を代表して8名が、共同研究の内容
や国際学術誌への論文投稿、帰国後の
本研究の発展状況等について発表し、
日本の共同研究者から補足説明やコメ
ントを述べた。

開催日：2025年3月8日(土)

形 式：会場をメインとしたハイブリッド会議
会 場：長富宮飯店（北京市）

実施責任者：

李忠金 笹川同学会秘書長（第12期生）

参加者：140名（オンライン参加を含む）

講演者：8名（8組）

蔣小華 同済大学附属上海市東方医院胃腸外
科教授（第12期生）

比企直樹 北里大学医学部上部消化管外科学
主任教授

「Functional Preservation Surgery for
Gastric Cancer - My Learning and
Exchange Report at Cancer Institute
Hospital, JFCR」

孫長博 上海肺科医院胸外科主治医師
（第44期生）

中島 淳 日本赤十字医療センター院長

「Advances in sarcopenia study: Towards precise body phenotypes and risk stratification in lung cancer」

李 博 首都医科大学附属北京中医医院 EBM 医学主任醫師（第 41 期生）

中山健夫 京都大学大学院医学研究科健康情報学教授

「Comparison of Chinese and Japanese evidence-based guidelines and application of mixed research methods in the preparation of guidelines」

謝橋生 中日友好医院放射腫瘍科主治醫師（第 42 期生）

秋元哲夫 東京慈恵会医科大学放射線医学講座臨床専任教授

「A Report of My Experience in Studying Proton Beam Therapy for Cancer at National Cancer Center Hospital East」

李小平 四川省人民医院心血管内科主任醫師（第 43 期生）

池田隆徳 東邦大学医学部循環器内科学教授
「Genetic Research on Atrioventricular Nodal Reentrant Tachycardia (AVNRT)」

王 珊 首都医科大学附属北京儿童医院皮膚科教授（第 45 期生）

François NIYONSABA

順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター副センター長、教授

「Exploration of mechanistic insights into the potential alleviating effects of sulforaphane in atopic dermatitis」

張愛英 首都医科大学附属北京佑安医院中西医结合感染病研究所研究員（第 44 期生）

堀江重郎 順天堂大学大学院医学研究科泌尿器科学主任教授

「The application of ultrasensitive protein microarray technology in biomarker detection」

孟召偉 天津医科大学総医院核医学教授（第 40 期生）

光武範吏 長崎大学原爆後障害医療研究所教授

「Experimental and theragnostic studies on thyroid cancer - Sasakawa experiences report」

3) 日中ハイエンド医学フォーラム【専門家派遣支援】

概要：「生活習慣病」をテーマとした学術シンポジウム

開催日：2024 年 12 月 21 日(土)

形式：会場をメインとしたハイブリッド会議

会場：長富宮飯店（北京市）

実施責任者：

李忠金 北京雅達翻訳会社総経理（第 12 期生）

参加者：100 名（オンライン視聴者含む）

講演者：5 名

福田夏樹 在中国日本国大使館一等書記官

「日本における健康増進の取り組み」

津下一代 女子栄養大学特任教授

「生活習慣病の予防と治療—地域における健康づくり—」

李劍虹 中国疾病予防コントロールセンター代謝室主任

「中国における慢性疾患の予防とコントロール戦略」

李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血压センター長、新疆高血压研究所所長（第 7 期生・第 40 期生＜共同研究コース＞）

「高血压管理の改善における高血压専門医療の重要な役割」

李頤筑 黒龍江省中医薬科学院教授（第 10 期生）

「生活習慣病を防ぐ清潔な環境」

4) 地域医療支援活動

(1) 日本支部健康講座・健康相談会①

実施日：2024 年 7 月 14 日(日)

場所：アスパア明石（兵庫県明石市）

実施責任者：

呉小玉 京都光華女子大学教授（第 21 期生）

参加者：56 名

中国残留邦人とその家族、在留中国人他

概 要：

謝海棠聖徳大学大学院看護研究科教授（第21期生）の講演「どうすれば老いとうまく付き合えるか？」の後、身体測定と個別に中国語による健康相談を行った。本活動は、中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会、兵庫県立大学地域ケア開発研究所、兵庫県看護協会東播支部、兵庫県明石市福祉事務所と協力して行った。

(2) 黒龍江省中医診断治療支援活動

実施日：2024年8月2日(金)～4日(日)

場 所：綏芬河市中医院（黒龍江省綏芬河市）

実施責任者：

李頤筑 黒龍江省中医薬科学院教授（第8期生）

参加者：120名

県レベルの病院に勤務する中医師

概 要：

李頤筑氏を含む黒龍江省中医薬科学院の医師5名が1対1で現地医師の指導を行い、現地の患者を診察した。

(3) 日本支部健康講座・健康相談会②

実施日：2024年11月3日(日)

場 所：所沢市松井公民館（埼玉県所沢市）

実施責任者：

池田マリア 湘南藤沢徳洲会病院看護師
（第13期生）

参加者：42名

中国残留邦人とその家族、在留中国人他

概 要：

謝海棠聖徳大学大学院看護研究科教授（第21期生）の講演「どうすれば老いとうまく付き合えるか？」の後、「内科全般・皮膚科・漢方・婦人科」「神経内科・腫瘍内科」「眼科・外科」「中医・薬剤」「看護・介護・健康生活」の5グループに分かれて、個別に中国語による健康相談を行った。本活動は介護グループの一笑苑、新座こだまクリニックと協力して行った。

(4) 陝西省消化器癌医療支援活動

実施日：2024年11月11日(月)

場 所：呉起県医院（陝西省延安市呉起県）

実施責任者：

張 軍 西安交通大学第二附属医院教授
（第11期生）

参加者：40名

呉起県医院消化器科医師・看護師

概 要：

西安交通大学第二附属医院の3名の医師が講義と実地指導を行った。

(5) 湖南省腹腔鏡医療支援活動

実施日：2025年1月11日(土)～12日(日)

場 所：溆浦县人民医院（湖南省懷化市溆浦県）

実施責任者：

李永国 中南大学湘雅二医院教授（第1期生）

参加者：100名

県レベルの病院に勤務する医師

概 要：

中南大学湘雅二医院の講師陣が講義と実地指導を行った。

5) 笹川同学会支部学術交流会

(1) 華北地区（遼寧省含む）支部学術交流会

概 要：「各種結節（肺、乳腺、甲状腺）の診断治療および重要性」をテーマとした学術講演会及び情報交換会

開催日：2024年6月29日(土)

会 場：承德山庄（河北省承德市）

実施責任者：

許 順 中国医科大学附属第一医院胸外科教授
（第15期生）

孟召偉 天津医科大学総医院核医学科教授
（第30期生・第40期生＜共同研究コース＞
・第45期生＜共同研究コース＞）

参加者：50名

天津市、河北省、山東省、遼寧省の笹川同学会会員

講演者：5名

王学晶 北京協和医院乳腺外科准教授

「乳腺結節の診断と治療」

李伝海 解放軍第九六〇医院胸外科准教授

「肺すりガラス状結節の認識と処理原則」

田素斎 河北医科大学第二医院養老センター
(第22期生)

「肺結節と乳腺結節がある場合の対処方法」

孟召偉 天津医科大学総医院核医学科教授
(第30期生・第40期生<共同研究コース>
・第45期生<共同研究コース>)

「甲状腺結節について」

孫艷彬 中国医科大学附属第一医院胸外科准
教授 (第37期生)

「肺結節の全工程管理」

(2) 東北地区学術交流会【専門家派遣支援】

概要：「DRG 医療制度改革」をテーマとした
学術講演会及び情報交換会

開催日：2024年7月13日(土)

会場：チチハル富力万達嘉華酒店（黒龍江省
チチハル市）

実施責任者：

趙樹華 吉林大学中日聯誼医院中医科教授
(第4期生)

李頌筑 黒龍江省中医薬科学院教授 (第8期生)

参加者：50名

黒龍江省、吉林省の笹川同学会会員

講演者：4名

福田夏樹 在中国日本国大使館一等書記官
「日本のDPC制度」

許鳳娟 ハルビン医科大学附属第一医院病例
統計センター主任

「DIP支払制度による清算書記入ルール」

孟繁波 吉林大学中日聯誼医院心臓内科教授
(第25期生)

「医師から見たDRP」

金京春 延辺大学附属医院リウマチ免疫学科
教授 (第40期生<共同研究コース>)

「DIP支払改革の対応策」

(3) 西北・西南地区学術交流会【専門家派遣支援】

概要：「DRG 医療改革」をテーマとした学術
講演会及び情報交換会

開催日：2024年10月19日(土)

会場：漢中北岸云憬酒店（陝西省漢中市）

実施責任者：

張 軍 西安交通大学医学院第二附属医院教授
(第11期生)

李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血圧
センター長、新疆高血圧研究所所長
(第7期生・第40期生<共同研究コース>)

参加者：40名

新疆ウイグル自治区、陝西省、山西省、四川
省、重慶市の笹川同学会会員

講演者：5名

福田夏樹 在中国日本国大使館一等書記官
「日本のDPC制度」

李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血圧
センター長、新疆高血圧研究所所長
(第7期生・第40期生<共同研究コース>)

「高血圧学科設立の重要性について考察と見解」

張 軍 西安交通大学医学院第二附属医院教授
(第11期生)

「DRGの過去、現在と未来」

唐小海 重慶萊美薬業株式会社技術セン
ター連合薬物実験室教授 (第11期生)

「進行性固形腫瘍におけるナノ炭鉄 (CNSI-
Fe) の応用」

丁群芳 四川大学華西老年医学センター
(第25期生)

「医学の温かさで、高齢患者をもっと幸せに」

(4) 華南・雲南地区学術交流会【専門家派遣支援】

概要：「口腔保健」をテーマとした学術講演会
及び情報交換会

開催日：2024年10月26日(土)

会場：南方科技大学會議センター（広東省深圳市）

実施責任者：

王松靈 中国科学院院士・南方科技大学医学
院院長 (第8期生)

王甲東 中山大学教授（第1期生）
丘勇超 広州中医薬大学第一附属医院泌尿器
外科教授（第5期生）
李永国 中南大学湘雅二医院教授（第1期生）

参加者：75名

広東省、湖南省、海南省の笹川同学会会員
講演者：4名

周 建 北京口腔医院教授
「口腔健康とケアについて」
李 松 昆明医科大学学長（第8期生）
「人の頭蓋骨の進化と口腔疾患」

李宝興 深圳市羅湖区人民医院教授（第12期生）
「留学生活が男性泌尿器科の研究や発展に
与えた影響」

丁江峰 深圳市第六人民医院教授（第35期生）
「小児歯科の快適な治療法」

備考：

尾形武寿日本財団理事長、跡見裕日中医学
協会理事長、在広州日本国総領事館から貴島
善子総領事、石橋佑悟副領事が出席した。

(5) 華東・湖北地区学術交流会

概要：「結節(肺、乳腺、甲状腺)の診断治療及
びその重要性」をテーマとした学術講演
会及び情報交換会

開催日：2024年12月28日(土)

会場：元一ヒルトン酒店（安徽省合肥市）

実施責任者：

殷 猛 上海交通大学医学院附属上海兒童医学
センター心胸外科教授（第27期生）

参加者：52名

江蘇省、安徽省、上海市、浙江省、湖北省の
笹川同学会会員

講演者：5名

孟召偉 天津医科大学総医院核医学科教授
（第30期生・第40期生＜共同研究コース＞
・第45期生＜共同研究コース＞）

万毅剛 南京大学医学院附属鼓楼医院教授
（第26期生）

「中医学における結節の予防治療の研究進展」

賈立中 安徽省蕪湖市第一人民医院影像科医師
（第29期生）

「肺結節の分類と影像診断の新展開」

蔣小華 同済大学附属上海東方医院教授
（第32期生）

「消化管ポリープおよび腫瘍の内視鏡的・
外科的治療の進歩」

張 瑛 寧波市医療センター李惠利医院准教授
（第43期生）

「甲状腺および乳房結節の超音波診断」

(6) 日本支部学術交流会【専門家派遣支援】

概要：「健康寿命を維持するための予防医学及
び健康看護・健康づくり」をテーマとし
た学術講演会及び情報交換会、総会

開催日：2025年3月9日(日)

会場：TKP品川カンファレンスセンター

形式：会場をメインとしたハイブリッド形式
実施責任者：

趙松吉 福島県立医科大学ふくしま国際医療
科学センター先端臨床研究センター
教授（第19期生）

参加者：32名（オンライン参加を含む）

祝学華中国駐日本国大使館科学技術部公使参
事官（祝辞）、朱小博一中国駐日本国大使館
科学技術部一等書記官、安達勇日中医学協会
副会長/理事（講演）、日本在住の笹川同学会
会員、WEB出席/趙群笹川同学会理事長、李忠
金笹川同学会秘書長

講演者：

姚 利 葉大学大学院看護学研究科高齢社会
実践看護学特任助教
（第43期・第45期生＜ポストドクター
コース＞）

「在留中国人高齢者のおいへの準備教育プ
ログラムの開発」

畢袖晴 金沢大学大学院薬保健学総合研究科国
際感染症制御学助教（第23期生）

「新型コロナワクチン接種後の免疫反応と有
効性」

単少傑 (株)レイデルジャパン・コンシューマ
ヘルスケア事業本部 RA, R&D 統括
(第 21 期生)

「日本の健康食品の概念、発展および保健
機能食品制度について」

呂玉泉 大阪大学大学院医学系研究科環境医
学助教 (第 23 期生)

「健康に配慮した飲酒」

安達 勇 日中医学協会副会長・理事

静岡県立静岡がんセンター参与

「健康長寿の新知見」

6) 中国科学院主催「科学技術フロンティア・フォーラム」での講演【専門家派遣支援】

開催日：2024 年 10 月 26 日(土)

会 場：南方科技大学会議センター (広東省深圳市)

主 催：中国科学院

概 要：

王松靈氏 (第 8 期生) を含む南方科技大学
所属の 3 名の中国科学院院士が「生物医学に
おけるホメオスタシスの応用」を主テーマに
講演を行い、最先端の研究が発表された。こ
のフォーラムに、跡見裕日中医学協会理事長
と尾形武寿日本財団理事長が招待された。

7) 笹川同学会と日中医学協会の二者会談

実施日：2024 年 9 月 4 日(水)

場 所：ビストロ・ボンファム

出席者：趙 群 笹川同学会理事長

許 順 笹川同学会副理事長

李忠金 笹川同学会秘書長

賈存波 中日友好医院国際交流室主任

林崎良英 協会理事、日中医学(日中医
学協会－日本財団協力委員
会委員長

岡田光子 日中医学協会事務局長

概 要：

日本留学中の研究者の状況と第 46 期研究者
の応募状況、同学会活動について報告と意見
交換を行った。

8) 同学会会計監査の実施

(1) 2023 年度会計監査

実施日：2024 年 4 月 11 日(木)

形 式：ZOOM によるオンライン監査

監査人：岡田光子 日中医学協会事務局長

概 要：

書面による事前監査－2023 年 4 月～2023 年 1
月における確認/質問/意見等事項を踏まえ、
オンライン (ZOOM) により画面共有し、事前
に送付した「笹川同学会事業の 2023 年度会計
監査_2024 年 2～3 月における確認/質問/意見等
事項」について回答を得て確認した。

監査結果：

2023 年度笹川同学会事業の年度会計は、概
ね違反事項はなかったが、要改善事項の確実
な履行が必要である。

2. 医療の国際化に係わる事業

1) 日本式医療の拠点化に向けた事業性調査 (継続)

(1) 生活習慣病 (高血圧・糖尿病) の予防と治療に 関する日本式医療の検討

中国の公益法人である北京華通国康公益基金
会と日本で「糖尿病」に係る研修事業を実施す
る予定であったが、諸事情により延期となった。

3. 専門家派遣事業

1) 日中オンラインシンポジウムへの講演者派遣①

2024 年 6 月 26 日(水)に中国の三級病院の医師・
管理者を対象に開催された日中オンラインシン
ポジウム『医療の質と安全』に、主催者の要望
に基づき順天堂大学医学部附属順天堂医院から
講演者を派遣した。

講演者：

鈴木健司 順天堂医院副院長

「順天堂医院の紹介」

山本宗孝 順天堂医院管理学研究室教授

「医療の質・安全管理と患者の満足度向上」

内藤俊夫 順天堂医院院長補佐、教授

「スマート医療による医療サービスの向上の実践」

2) 日中オンラインシンポジウムへの講演者派遣②

2024 年 12 月 23 日(水)に中国で開催された日中オンラインシンポジウム『病院管理国際交流会 2024～科学研究・イノベーションとその実用化』に、主催者の要望に基づき京都大学医学部附属病院から講演者を派遣した。

講演者：

高折晃史 京都大学医学部附属病院院長

「京都大学医学部附属病院の紹介」

新井康之 同院血液内科・検査部講師、細胞療法科診療科長

「臨床研究とイノベーション：リアルワールドデータが臨床現場を変える～『細胞療法運用学』の着想と発展まで」

塩川雅広 京都大学大学院医学研究科消化器内科学助教、外来医長

「潰瘍性大腸炎の新規自己抗体同定とその臨床応用」

3) 中国科学院主催「科学技術フロンティア・フォーラム」への出席（招待）

期 間：2024 年 10 月 25 日(金)～27 日(日)

派遣先：広東省深圳市

訪中者：跡見 裕 協会理事長

4) 中国政府友誼賞受賞式への出席

受賞者：小川秀興 協会会長

安達 勇 協会理事・副会長

受賞式：2025 年 1 月 25 日(金)

会 場：友誼賓館（北京市）

5) 笹川同学会事業への専門家の派遣

(p. 9, 10, 11, 13, 14, 15, 16 参照)

4. 医療関連訪日団等招請事業

1) 医療関連訪日団・訪日者の招請

(1) 笹川同学会訪日団

目 的：日中笹川医学奨学金制度第 45 期＜学位取得コース・ポストドクターコース＞研究者認定式出席、医療機関視察等

期 間：2024 年 4 月 16 日(火)～20 日(金)

訪日者：趙 群 理事長ら 8 名

(2) 笹川同学会訪日団

目 的：日中笹川医学奨学金制度第 45 期＜共同研究者コース＞研究者集会出席、医療機関視察等

期 間：2024 年 9 月 1 日(日)～5 日(木)

訪日者：趙 群 理事長ら 4 名

(3) 河南省周口永善医院産婦人科医師・看護師訪日団

目 的：日本の不妊症治療、周産期ケア・教育・病棟管理について学ぶ

期 間：2024 年 7 月 3 日(水)～8 日(月)

訪日者：陳作恒 院長ら 10 名

備 考：7 月 4 日に聖路加国際病院、5 日に山王病院の参観を当協会の手配した。

(4) 北京大学医学部医療関係者

目 的：学会参加

期 間：2024 年 9 月 5 日(木)～11 日(水)

訪日者：李榴柏 公共衛生学院副研究員ら 3 名

(5) 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第 9 期研修生

目 的：日本の先進技術の習得と消化器内視鏡医と病理医の緊密な連携について学ぶ

期 間：2025 年 1 月 22 日(水)～2 月 20 日(木)

訪日者：6 病院計 12 名（名簿後掲）

2) 中国人医療関係者の訪日研修支援

(1) 科学技術振興機構（JST）「国際青少年サイエンス交流事業」（さくらサイエンスプログラム）による招請事業

応募の目的と仕組みを見直す為、2024 年度は応募を見送った。

5. 北京華通国康公益基金会との事業提携（事業延期）

北京華通国康公益基金会より、医療人材の育

成、学術会議開催、医療機関視察等の共同実施について打診があり、協議の結果、2024 年 11 月にパイロットスタディとして「糖尿病」をテーマとした訪日研修事業を行うよう進めていた。しかし、度重なる派遣研修者の変更、派遣医療機関の都合による研修者の辞退、さらには別の医療機関からの派遣者追加等々があり、研修依頼先に多大な迷惑と面倒を掛ける状況が多々生じたため、6 月 20 日に同会に対し、本研修事業の延期を申し入れた。

6. 会員訪中団派遣事業

査証取得の煩雑さから、2024 年度は企画を中止した。

7. 中国訪日団等の日中医学協会表敬訪問

1) 中華医学会代表团

訪問日：2024 年 5 月 22 日(水)

訪問者：李国勤 副会長

李 佳 学術会務部副主任

宋 盟 科技評審部主任助理

応対者：小川秀興 会長（順天堂理事長）

跡見 裕 理事長

本田伸吾 事務局統括

岡田光子 事務局長

金 粉花 医療協力事業担当

場 所：順天堂大学

備 考：中華医学会の要望を受け、飛田護邦順天堂大学革新的医療技術開発研究センター先任准教授が、順天堂大学の臨床研究開発プログラム（GAUDI）によるライフサイエンス分野における研究開発の促進と開発シーズを社会実装させる取り組みについて紹介した。

2) 河北省保定市訪日団

訪問日：2024 年 6 月 12 日(木)

訪問者：(a) 政府関係者

党曉龍 保定市共産党委員会書記

馬義民 保定市開発区管理委員会副主任

康 峰 保定市發展改革委員会主任

陳紹輝 保定市市場監督管理局局長

龐 穎 保定市衛生健康委员会主任

王 瑛 保定市外事弁公室副主任

(b) 病院関係者

程樹傑 河北大学附属医院院長

殷樹欣 第一中心医院院長

陳宇萍 保定市兒童医院院長

張曉偉 保定市リハビリテーション医院院長

王曉青 保定市中医院院長

馮艷光 保定市第六医院院長

応対者：小川秀興 会長（順天堂理事長）

岡田光子 事務局長

場 所：順天堂大学

備 考：訪日団の要望を受け、藤原俊之順天堂大学医学部リハビリテーション医学研究室担当教授が、順天堂医院における先端リハビリテーション治療について、非侵襲的神経刺激治療、ロボット等を用いた先端的なニューロリハビリテーション治療等の実践を紹介した。

3) 河北省保定市衛生健康委員会訪日団

訪問日：2024 年 11 月 13 日(水)

訪問者：門恵沢 保定市衛生健康委員会副主任

馬 丹 保定高新技術産業開発区管理委員会投資促進局局長

王術明 保定市定興県衛生健康局局長

周科星 保定市望都県衛生健康局局長

康永好 保定市唐県衛生健康局局長

高偉強 安国市衛生健康局局長

王志強 保定市易県衛生健康局局長

応対者：小川秀興 会長（順天堂理事長）

岡田光子 事務局長

場 所：順天堂大学

備 考：訪日団の要望を受け、内藤俊夫順天堂医院院長・総合診療科学主任教授と西崎祐史順天堂大学医学部医学教育研究室先任准教授が、順天堂医院における外国籍患者の受入実績および体制の整備について紹介した。

4) 中国国家衛生健康委員会訪日団

訪問日：2024 年 12 月 16 日(月)

訪問者：雷海潮 主任（中国保健大臣）

王海東 老齡健康司司長

李明柱 国際合作司専門員

邢若齊 医政司副司長

余志文 国際合作司亜太處處長

李孟濤 弁公庁秘書

李忠金 笹川同学会秘書長(通訳)

応対者：小川秀興 会長（順天堂理事長）

跡見 裕 理事長

岡田光子 事務局長

金 粉花 医療協力事業担当

場 所：順天堂大学

備 考：中国大使館から祝学華科学技術部公使参事官、朱小博科学技術部一等書記官と、東京・新潟在住の日中笹川医学奨学金制度研究者 13 名、第 45 期＜共同研究コース＞日本側共同研究者 2 名（順天堂大学所属）が同席した。

5) 在広州日本国総領事

訪問日：2024 年 7 月 10 日(水)

訪問者：貴島善子 在広州日本国総領事

応対者：岡田光子 事務局長

末原珠生 事務局次長

場 所：日中医学協会

6) 中国駐日本国大使館（中国大使館）

訪問日：2025 年 1 月 24 日(月)

訪問者：洪志傑 科学技術部参事官

朱小博 科学技術部一等書記官

蔣京蘭 科学技術部二等書記官

応対者：跡見 裕 理事長

岡田光子 事務局長

場 所：跡見学園

8. 日本財団母乳バンクへの協力

日本財団母乳バンクでは、母乳過多のドナーより寄付された母乳を適切に低温殺菌・細菌検

査・冷凍保管し、NICU の要請に応じて、「ドナーミルク」として提供している。対象は早産児および 1,500g 未満の極低出生体重児である。

2024 年 9 月 10 日(火)、笹川陽平日本財団会長が小川会長にドナーミルク使用施設拡大支援についての相談があり、小川会長は主要な未登録施設に文書でドナーミルク導入を呼びかけ、小川会長名で依頼文書を送付した。同年 12 月 16 日(月)、日本財団母乳バンクより、4 施設が登録完了し、さらに 3 施設が導入を前向きに検討中であることが報告された。

9. 中華人民共和国成立 75 周年祝賀記念レセプション（中国大使館主催）への出席

開催日：2024 年 9 月 26 日(木)

会 場：ホテルニューオータニ「鶴の間」

出席者：小川秀興 会長

跡見 裕 理事長

安達 勇 理事/副会長

岡田光子 事務局長

エ 広報事業

1. 機関誌『日中医学』の発行

機関誌『日中医学』第39巻（デジタル版）を以下の通り発行した。冊子体（印刷物）希望者には郵送した。

第1号（2024年5月発行）

特集：日中笹川医学奨学金制度35周年記念式典

第2号（2024年8月発行）

特集：日中における幹細胞医療の現状

第3号（2024年11月発行）

特集：日中における子宮がんの現状と展望

第4号（2025年2月発行）

特集：日中における小児看護の現状と課題

2. 日中間の医学・医療交流に関する情報発信の強化

ホームページの随時更新、メールマガジン『日中医学協会 News』の月2回配信等を行い、情報発信の強化を図った。

3. Asian Pacific Journal of Dentistry への協力

Sponsoring Organization として協力した。

4. 機関誌『日中医学』の今後の在り方の検討

機関誌『日中医学』を2026年度からオープンアクセスオンラインジャーナルに転換することを目標に検討を行った（2025年度継続検討課題）。

[2] 委員会開催報告

1. 広報委員会

1) 第1回委員会

日時：2024年6月25日(火) 18:00～19:40

形式：オンライン会議

出席者：委員9名、委任状出席1名、専門委員6名
議案：

- ① 事業進行状況報告
- ② 『日中医学』第40巻（2025年度発行）特集テーマの選定
- ③ 『日中医学』の今後の在り方について

2) 第2回委員会

日時：2024年11月28日(木) 18:00～19:30

形式：会場をメインとしたハイブリッド会議

出席者：委員8名、委任状出席2名、専門委員4名
議案：

- ① 事業進行状況報告
- ② 『日中医学』第40巻広告掲載依頼先について
- ③ 2024年度広報事業予算進捗状況及び決算見込みについて
- ④ 2025年度広報事業－日本財団への助成申請について
- ⑤ 『日中医学』表紙への日本財団助成表示マーク掲載について
- ⑥ 『日中医学』リニューアルについて

3) 第3回委員会

日時：2025年3月6日(木) 18:00～19:30

形式：オンライン会議

出席者：委員7名、委任状出席3名、専門委員4名
議案：

- ① 事業進行状況報告
- ② 『日中医学』第40巻広告掲載申込み状況報告
- ③ 2025年度広報事業予算について
- ④ 『日中医学』のオープンアクセス化について

2. 日中医療交流（内視鏡等）委員会

1) 第1回委員会

日 時：2024 年 7 月 24 日(水) 18:00～19:00

形 式：リアル形式

出席者：委員 5 名、委任状出席 2 名、専門委員 1 名

議 案：

- ① 日中消化器内視鏡臨床診断・病理合同研修プロジェクト第 9 期研修生研修先選定
- ② 第三次日中消化器内視鏡臨床診断・病理合同研修プロジェクト発足に向けて

3. 共同研究等選考委員会

1) 第1回委員会

日 時：2024 年 11 月 8 日(金) 18:00～19:00

形 式：ハイブリッド会議

出席者：委員 8 名、委任状出席 2 名、専門委員 3 名

議 案：

- ① 日中笹川医学奨学金制度第 46 期研究者（学位取得コース・ポストドクターコース）選考結果承認
- ② 日中笹川医学奨学金制度第 46 期研究者（共同研究コース）選考
- ③ 国際ジャーナルへの論文掲載料助成について

4. 日中医学（日本財団－日中医学協会）協力委員会

1) 第1回委員会

議 案：日中笹川医学奨学金制度において 2024 年度助成対象者である第 45 期＜学位取得コース・ポストドクターコース＞研究者計 20 名に対する中間評価（助成継続の可否判定）

形 式：書面審査

評価者：委員 4 名

審査期間：2025 年 3 月 17 日(月)～24 日(月)

[3] 総務報告

I. 中国国家衛生健康委員会等との協議

中国国家衛生健康委員会及びその関係部門と、日本医療の国際化と中国医療の発展に寄与する事業の設立を目指し、検討を行っている。

II. 財務基盤の拡充

A. 会員拡大

1. 2024 年度会員数の推移

	当年度 期初	入退会	当年度 期末
名誉会員	8名	入会 0名 退会 0名	8名
個人会員	241名	入会22名 退会25名	238名
法人会員	57社	入会 2社 退会 7社	52社
特別会員	3社	入会 0社 退会 0社	3社

B. 募金活動

1. 一般寄付金・特別寄附金

寄附金は、当協会が実施した研究助成事業、学術会議開催、医療協力事業等に充当した。

1) 一般寄附金

a. 法人 1 件 計 1,000,000 円

b. 2024 年年末寄附金

依頼対象：個人会員、協会役員・委員会委員

募金口数：1 口 1 万円，1 口以上

募集期間：2024 年 11 月 27 日(水)
～2025 年 1 月 31 日(金)

寄附総額：1,520,000 円

2) 特別寄附金

- a. 法人 1 件 計 10,532,000 円
指定使途：第 9 期日中消化器内視鏡臨床診断治療
・病理合同研修プロジェクト

C. 日本財団に対する助成金申請

日本財団から 2025 年度助成金申請に対する審査結果通知（2025 年 2 月 26 日付）を受理した。

- ① 日中笹川医学協力プロジェクト 197,090,000 円
日中笹川医学奨学金制度（121,374,000 円）
笹川同学会事業（75,716,000 円）
② 基盤整備 37,800,000 円

①+② 計 243,890,000 円

ね良好な税務処理を行っている、との総評であった。指摘事項として、当協会旅費交通費規程第 13 条 2 項に基づく片道 50 km 未満の交通費の定額支払いは「給与扱いとして源泉徴収すべきもの」との指摘があった。

C. 業務の適正を確保するための体制等の整備

第 48 回理事会（2023. 12. 13）で電子帳簿保存法改正への対応として制定した、①電子取引データ訂正及び削除の防止に関する事務処理規程、②スキャナによる電子化保存規程に則り、電子帳票管理システムを導入した。

また、2025 年 4 月からの新公益法人制度への準備を行った。

Ⅲ. 協会運営に係わる事項

A. 役員等の改選

1) 評議員の辞任に伴う補欠選任

山口建評議員（静岡県立静岡がんセンター名誉総長の辞任に伴い、公益24回評議員会に於いて補欠選任し、上坂克彦氏（静岡県立静岡がんセンター総長）が選任された。任期は、前任者の残任期間である 2025 年度定時評議員会の終結の時までである。

2) 副会長の辞任に伴う補欠選任

山本信夫副会長（日本薬剤師会前会長）の辞任に伴い、公益51回理事会（2024年8月14日、決議省略）に於いて補欠選任し、岩月進氏（日本薬剤師会会長）が選任された。任期は、前任者の残任期間である 2025 年度定時評議員会の終結の時までである。

B. 神田税務署による税務調査

9 月 12 日・13 日、公益財団法人に移行後初めての神田税務署法人課税上席国税調査官による税務調査（源泉徴収）が協会事務所で行われ、事務局が対応した。

調査の結果、会計資料はよく整っており、概

日中笹川医学奨学金制度＜学位取得コース＞：第 42 期研究者

2025. 3. 31 現在

氏 名	所 属 機 関	受 け 入 れ 機 関		指導責任者
	研究テーマ		学位取得方法 専攻分野 取得年月	
趙 景敏	吉林大学中日聯誼医院・主治医師	福島県立医科大学大学院医学研究科 放射線医学		伊藤 浩 教授
	脳神経画像を用いた虚血性脳血管障害の治療効果・予後評価の研究		論文博士 医学 2024. 03	
焦 丹丹	河南科技大学第一附属医院・主管護師	筑波大学大学院人間総合科学研究科 生命システム医学専攻		安梅 勅江 教授
	国際発達ケア：エンパワメント科学研究		課程博士 医学 2023. 03	
張 碧航	自治医科大学大学院医学研究科・博士課程学生	自治医科大学大学院医学研究科 形成外科学		吉村 浩太郎 教授
	幹細胞培養上清成分を用いた再生医療の開発		課程博士 医学 2024. 03	
徐 詩婷	遼寧省腫瘍医院大東医院・医師	順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学		高橋 和久 教授
	肺癌免疫治療における効果予測バイオマーカーの探索		論文博士 医学 2025. 01	
劉 霄	陸軍軍医大学西南医院・医師	慶應義塾大学大学院医学研究科 眼科学		根岸 一乃 教授
	東アジア人における ABCA4 関連網膜症の臨床的・分子遺伝学的調査		課程博士 医学 2022. 03	
孟 華川	中日友好医院・日本事業担当	国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科 医療福祉経営学分野		島崎 謙治 教授 桐生 茂 医学研究科 放射線医学 主任教授
	ICT を活用した遠隔医療の導入効果及び推進方策		課程博士 医療福祉経営学 2023. 03	
趙 正男 (資格取消)	中国人民解放軍連勤保障部隊 薬品儀器監督検験総站・工程師	COVID-19 の影響により 2021 年に大学院受験、不 合格により研究者資格取消		
李 敏 (辞退)	中国人民解放軍連勤保障部隊第 960 医院 ・主治医師	兵庫医科大学放射線医学		山門 亨一郎 主任教授
	インターベンショナル・ラジオロジー		課程博士	
和 晋渝	重慶市疾病予防コントロールセンター ・主治医師	長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘル ス研究科グローバルヘルス専攻		Lina Madaniyazi 助教
	温度関連の死亡率に対する都市ヒートアイランドの影響		課程博士 グローバル ヘルス 2023. 09	
翟 達	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 ・博士課程学生	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 幹細胞生物学		李 桃生 教授
	メカノストレスが癌細胞に与える影響と機序		課程博士 医学 2023. 03	

※取得年月が「－」の場合は学位未取得

日中笹川医学奨学金制度＜学位取得コース＞：第 43 期研究者

2025. 3. 31 現在

氏 名	所 属 機 関	受 け 入 れ 機 関		指導責任者
	研究テーマ	学位取得方法 専攻分野 取得年月		
範 彬	貴州医科大学附属医院・講師	北海道大学大学院医学研究院 腫瘍病理学		田中 伸哉 教授
	基質荷電を用いたドパミン作動性神経細胞への新規分化法の確立	課程博士 医学 2025. 03		
趙 雪	上海交通大学医学院附属同仁医院・主治医師	千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学		市川 智彦 教授
	アミノ酸トランスポーターを介した前立腺癌分子機構の解明（前立腺癌とアミノ酸トランスポーター）	課程博士 医学 —		
姚 利	千葉大学大学院看護学研究科・博士課程学生	千葉大学大学院看護学研究科看護学専攻		正木 治恵 教授
	在留中国人高齢者の老いへの準備教育プログラムの開発 ービデオカンファレンスを活用してー	課程博士 看護学 2023. 03		
張 茂芮	西南医科大学附属口腔医院・医師	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 生体補綴歯科学分野		若林 則幸 教授
	骨誘導因子 Runx2 mRNA と VEGF mRNA 医薬を用いた顎骨再生	課程博士 歯学 2024. 03		
江 傑	東莞市人民医院・副主任医師	日本医科大学大学院医学研究科 解析人体病理学		清水 章 教授
	腎疾患の進展機序の解明とその制御	論文博士 医学 —		
王 晴	中国医科大学附属第四医院・主治医師	順天堂大学医学部 消化器外科講座上部消化管外科学		峯 真司 教授
	食道癌に対する基礎的臨床的研究	論文博士 医学 2024. 03		
張 瑛	寧波市医療センター李恵利医院・主治医師	横浜市立大学大学院医学研究科 消化器内科学		前田 慎 主任教授
	肝胆膵疾患・炎症性腸疾患における超音波を主体とした画像診断と治療	課程博士 医学 2025. 03		
葉 盛	南京紅十字血液センター・副主任医師	奈良県立医科大学大学院医学研究科 循環器システム医科学		中川 修 招聘教授
	ADAMTS13 による VON WILLEBRAND 因子制御破綻がもたらす疾患の病態解析	課程博士 医学 —		
王 喻	京都大学大学院医学研究科・博士課程学生	京都大学大学院医学研究科附属 がん免疫総合研究センター		本庶 佑 センター長 京都大学高等研 究院特別教授
	PD-1 阻害による免疫賦活化異常疾患の研究	課程博士 医学 —		
孔 徳川	上海市疾病予防コントロールセンター・主治医師	熊本大学大学院医学教育部 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野		上野 貴将 教授
	新型コロナウイルスの複製を制御する宿主因子の同定と機能解析	国立感染症研究所感染病理部 課程博士 医学 2025. 03		

※取得年月が「—」の場合は学位未取得

日中笹川医学奨学金制度＜学位取得コース＞：第 44 期研究者

2025. 3. 31 現在

氏 名	所 属 機 関	受 け 入 れ 機 関		指 導 責 任 者
	研 究 テ ー マ		学位取得方法 専攻分野 取得年月	
李 君鵬	吉林省人民医院・主治医師	東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学分野		亀井 尚 教授
	胃癌、食道胃接合部癌における癌微小免疫環境の解析と至適治療の確立		課程博士 医学 —	
黄 璐嬌	四川省医学科学院・四川省人民医院・主管技師	筑波大学大学院人間総合科学学術院 国際発達ケア：エンパワメント科学研究室		安梅 勅江 教授
	高齢栄養リスクの指数と高齢入院者の入院時間、入院費用との関係		課程博士 医学 —	
楊 勇	懷化市第一人民医院・主治医師	千葉大学社会精神保健教育研究センター		橋本 謙二 副センター長・ 教授
	脳疾患の病因解明と新規治療法の開発		課程博士 医学 2023. 03	
蔣 夢恬	東京科学大学大学院医歯学総合研究科 ・博士課程学生	東京科学大学大学院医歯学総合研究科 生体補綴歯科学分野		若林 則幸 教授
	暗条件下での血清及び唾液中の二酸化チタンの殺菌効果に及ぼす 3 種類のイオン性抗菌剤の影響に関する研究		課程博士 歯学 —	
陳 曹傑	慶應義塾大学大学院医学研究科・博士課程学生	慶應義塾大学医学部形成外科学		貴志 和生 教授
	創傷治癒とオートファジーの関係		課程博士 医学 2024. 03	
趙 宏波	中国医学科学院腫瘍医院深圳医院・副主任医師	東海大学医学部外科学系消化器外科学		小柳 和夫 教授
	食道癌術後縫合不全に対する ICG 蛍光イメージング法の有用性の検討		論文博士 医学 —	
周 英	金沢大学大学院人間社会環境研究科 ・博士課程学生	金沢大学大学院人間社会環境研究科		堤 敦朗 教授
	日本における精神科医療通訳が受ける心理的影響に関する研究：質的研究		課程博士 学術 2024. 03	
劉 天驕	成都市妇女儿童センター医院・幹事	京都大学大学院医学研究科 分子遺伝学分野		篠原 隆司 教授
	α-Klotho を要因とする老化過程における精子幹細胞の微小環境制御		課程博士 医学 —	
馬 快	大阪大学大学院医学系研究科・博士課程学生	大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学 国立成育医療研究センター研究所 RI 管理室/移植免疫研究室		猪阪 善隆 教授 李 小康 室長
	腎移植における腎臓線維化発生機序の解明と新規治療法の開発に関する研究		課程博士 医学 2025. 03	
徐 勇	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・博士課程学生	長崎大学原爆後障害医療研究所 生物学研究分野		李 桃生 教授
	ニカラベンによる間葉系幹細胞の放射線損傷の軽減		課程博士 医学 2023. 09	
李 佩霖	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・博士課程学生	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科学		江口 晋 教授
	小分子誘導肝前駆細胞（CLiP）からの 3D 胆管形成		課程博士 医学 2024. 09	

※取得年月が「—」の場合は学位未取得

日中笹川医学奨学金制度＜学位取得コース＞：第 45 期研究者

2025. 3. 31 現在

氏 名	所 属 機 関	受 け 入 れ 機 関		指導責任者
	研 究 テ ー マ		学位取得方法 専攻分野	
袁 野	遵義医科大学附属医院・研修医	筑波大学医学医療系神経内科学		斉木 臣二 教授
	アルベンダゾール誘導体のオートファジー促進活性の評価		課程博士 医学	
穆婭莎 阿布力 米提	中国医学科学院腫瘤医院深圳医院・主治医師	筑波大学医学医療系放射線腫瘍学		櫻井 英幸 教授
	難治性膠芽腫に対する相乗的併用療法のためのスマートナノファイバーメッシュの開発と検証		課程博士 医学	
李 博倫	自治医科大学・博士課程学生	自治医科大学大学院医学研究科形成外科学		吉村 浩太郎 教授
	放射線照射によるマウス・インプラント被膜拘縮モデルに対する脂肪由来幹細胞の治療あるいは予防効果の検討		課程博士 医学	
張 含煙	西安培華学院・日本語教師	杏林大学大学院国際協力研究科		宮首 弘子 教授
	外国人患者の医療面接モデルから考える医療通訳サービスの向上		課程博士 学術	
孔 令帥	山西省児童医院・主治医師	北里大学大学院医療系研究科耳鼻咽喉科学		山下 拓 教授
	薬剤性蝸牛神経障害モデルの作成と蝸牛損傷に対する遺伝子治療の治療効果		課程博士 医学	
王 榛憲	京都大学・博士課程学生	京都大学大学院医学研究科附属脳機能総合研究センター		花川 隆 センター長・ 教授
	生体標本 MRI コントラスト機序の解明		課程博士 医学	
馮 照祖	西安交通大学医学部・修士課程学生	大阪大学大学院医学系研究科病態病理学		森井 英一 教授
	病理検体を用いた腫瘍の多様性に関する解析		課程博士 医学	
李 英豪	佛山市中医院・医師	奈良県立医科大学大学院医学系研究科運動器再建医学		田中 康仁 教授
	足疾患に対する病因究明ならびに外科治療効果判定のための形態学的な研究		課程博士 医学	
李 琬晴	北京中医薬大学東方医院・研究実習生	九州大学生体防御医学研究所		佐田 亜衣子 教授
	皮膚再生プロセスにおける幹細胞制御機構の解明		課程博士 医学	
劉 夢潔	長崎大学原爆後障害医療研究所・博士課程学生	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科		高村 昇 教授
	福島第一原子力発電所周辺立ち入り禁止区域における外部被曝線量・内部被曝線量推定と視覚的解析		課程博士 医学	

日中笹川医学奨学金制度＜学位取得コース＞：第 46 期研究者

2025. 03. 31 現在

氏 名	所 属 機 関	受 け 入 れ 機 関	指導責任者
	研究テーマ	学位取得方法 専攻分野	
高 昊天	筑波大学・博士課程学生	筑波大学大学院人間総合科学学術院 国際発達ケア：エンバワメント科学研究室	安梅 勅江 教授
	地域在住高齢者の社会とのかかわりの認知機能への影響	課程博士 医学	
羅 琚鈺	雲南中医薬大学第一臨床医学院・住院医师	群馬大学大学院医学系研究科医科学専攻 群馬大学生体調節研究所代謝疾患医科学分野	白川 純 教授
	機能的膵β細胞量の制御による新規糖尿病治療法の開発	課程博士 医学	
高 偉博	順天堂大学・博士課程学生	順天堂大学大学院医学研究科 難治性疾患診断・治療学	岡崎 康司 教授
	ミトコンドリア病原因遺伝子 NARS2 の新規バリエーションの病原性の検証および発症機序の解明	課程博士 医学	
楊 旭	南京農業大学外国語学院・修士課程学生	杏林大学大学院国際協力研究科	宮首 弘子 教授
	介護通訳者の主体性に関する研究 —中国系高齢者介護現場に焦点を当てて—	課程博士 学術	
庄 鎧瑞	東京科学大学・博士課程学生	東京科学大学生命理工学院	川井 清彦 教授
	酸化還元反応による蛍光プリンキングを用いた生体分子の微小環境およびナノ構造の解明と、単一分子解析および診断への応用	課程博士 理学	
方 美雯	新潟大学・博士課程学生	新潟大学大学院医歯学総合研究科高度口腔機能教育研究センター	前川 知樹 研究教授
	口腔老化メカニズムの解明と骨再生療法への展開	課程博士 歯学	
唐 妍	蘇州工業園區仁愛学校・教師	立命館大学大学院人間科学研究科	矢藤 優子 教授・研究科長
	発達心理学視点から自閉症の保護者支援プログラムの開発と効果-中国の保護者を対象として	課程博士 人間科学	
趙 曉斐	藤田医科大学・博士課程学生	藤田医科大学大学院医学研究科放射線医学	井上 政則 主任教授
	MR 画像を用いた SPECT 画像の減弱補正法の開発	課程博士 医学	
李 宇	九州大学・博士課程学生	九州大学大学院医学研究院麻酔・蘇生学分野	山浦 健 教授
	人工呼吸管理下の機械力学刺激が肺組織幹細胞に与える影響と関連機序	課程博士 医学	
李 天洋	長崎大学・博士課程学生	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科移植・消化器外科学	江口 晋 教授
	原発性硬化性胆管炎に対する低分子化合物により誘導した肝前駆細胞を用いた治療に関する研究	課程博士 医学	

日中笹川医学奨学金制度＜共同研究コース＞：第 45 期研究者

2025. 3. 31 現在

氏 名	共同研究機関（中国）	共同研究機関（日本）	共同研究者
	研究テーマ	研究期間 (来日形態)	
李 飛澤	四川大学原子核科学技術研究所 副研究員	福島県立医科大学ふくしま国際医療科学セ ンター 先端臨床研究センター	趙 松吉 教授
	がん標的アルファ線治療のためのアスタチン-211 標識化学とその薬力学	10 か月 (個人)	
李 昊	西安交通大学第一附属医院重症医学科 主任医師	日本医科大学大学院医学研究科 救急医学分野	横堀 将司 教授
	心停止後症候群患者における集中治療	6 か月 (個人)	
朱 凱	復旦大学附属中山医院肝腫瘍外科 副主任医師	東京大学大学院医学系研究科 臓器病態外科学	長谷川 潔 教授
	日中両国における高齢の大腸癌肝転移患者における外科的治療法の比較検討	6 か月 (個人)	
蔣 培都	電子科技大学附属医院・四川省人民医院 薬学部（薬物臨床実験センター）・教授	東京大学大学院医学系研究科 生化学・分子生物学	水島 昇 教授
	新規オートファジー阻害剤の同定	6 か月 (個人)	
姚 春艷 (延期)	中国人民解放軍陸軍軍医大学第一附属医院輸血科 副教授、副主任医師		合田 圭介 教授
	Storage damage mechanisms of blood cell	6 か月 (チーム)	
王 慧涵	中国医科大学附属盛京医院血液内科 教授、主任医師	東京大学医科学研究所 革新的診断技術応用基盤社会連携研究部門	安井 寛 特任准教授
	リンパ系悪性腫瘍の免疫細胞治療感受性のための免疫オミクスに基づく人工知 能モデル	7 か月 (チーム)	
王 珊	首都医科大学附属北京儿童医院皮膚科 副主任医師	順天堂大学国際教養学部	François NIYONSABA 学部長補佐・ 教授
	アトピー性皮膚炎におけるスルフォラファンの緩和効果に関する研究	13 か月 (個人)	
李 鑫	中国医科大学附属第四医院腎内科 講師	順天堂大学大学院医学研究科腎臓内科学	鈴木 祐介 教授
	IgA 腎症における標的メサンギウム抗原の探索	7 か月 (個人)	
劉 碧天	中国医科大学附属盛京医院泌尿外科 准教授・副主任医師・副研究員	慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室	本田 賢也 教授
	膀胱癌における間質成分の進化ががん細胞の浸潤と転移に与える影響の研究	7 か月 (個人)	
孟 召偉	天津医科大学総医院核医学科 主任医師・教授	長崎大学原爆後障害医療研究所 放射線災害医療学研究分野	光武 範吏 教授
	甲状腺癌における癌関連線維芽細胞が治療抵抗性に及ぼす影響とその分子機構 の解明	7 か月 (チーム)	

日中笹川医学奨学金制度＜共同研究コース＞：第 46 期研究者

2025. 02. 18 現在

氏 名	共同研究機関（中国）	共同研究機関（日本）	共同研究者
	研究テーマ	研究期間 (来日形態)	
劉 英	川北医学院口腔医学院・教授	東北大学大学院歯学研究科附属歯学イノベーションリエンセンター 国際連携推進部門	洪 光 教授・副研究科長
	Asymmetric porous nZnO/P34HB composite GBR membrane with antibacterial property for alveolar bone regeneration	6 か月 (チーム)	
李 卓	西安医学院第一附属医院検験科・教授、主任技師	秋田大学大学院医学系研究科医学専攻 病態制御医学系 器官病態学講座	後藤 明輝 教授
	Biomarker for tumor diagnosis	6 か月 (チーム)	
戴 菲	西安交通大学第二附属医院消化内科・主任医師、教授	獨協医科大学消化器内科	入澤 篤志 主任教授
	The diagnostic value of EUS following ME in evaluating the depth of clinical T1 early gastric cancer (EGC)	6 か月 (チーム)	
全 営営	首都医科大学附属北京潞河医院腫瘍センター・主治医師	国立がん研究センター東病院消化管内科	設楽 紘平 科長
	Precision diagnosis and treatment of gastric and gastro-oesophageal junction (GEJ) cancers	6 か月 (チーム)	
李 経緯	重慶市新橋医院心血管内科・副主任医師	順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座	末永 祐哉 准教授
	Frailty in patients with heart failure	8 か月 (個人)	
王 帥	復旦大学附属中山医院胸外科・主治医師	順天堂大学大学院医学研究科呼吸器外科学講座	鈴木 健司 主任教授
	Clinical outcomes of minimally invasive versus open thymectomy for patients with myasthenia gravis	7 か月 (チーム)	
孔 祥溢	中国医学科学院腫瘍医院乳腺外科・副主任医師	国立がん研究センター中央病院乳腺・腫瘍内科	米盛 勸 科長
	Collaborative Research on Overcoming Breast Cancer Therapy Resistance	6 か月 (チーム)	
陳 宏達	中国医学科学院北京協和医院転化医学国家重大科技基礎施設・副研究員	国立がん研究センターがん対策研究所疫学研究部	岩崎 基 部長
	Indentification of colorectal cancer risk factors using Mendelian randomization analysis and its application in risk prediction models	6 か月 (チーム)	
劉 春燕	天津医科大学総医院血液内科・主任医師	金沢大学附属病院血液内科	細川 晃平 講師
	The role of NK-B cell interaction in the immunopathogenesis of aplastic anemia under inflammatory conditions	6 か月 (チーム)	
王 斐	中国医科大学附属第一医院耳鼻咽喉科・准教授	名古屋大学大学院医学系研究科頭頸学講座 耳鼻咽喉科学	曾根 三千彦 教授
	Endolymphatic hydrops in Meniere's disease	6 か月 (個人)	
周 建	首都医科大学附属北京口腔医院特診特需科・主任医師、教授	愛知医科大学医学部歯科口腔外科学講座	各務 秀明 特任教授
	Research on the Effects and Mechanism of Enhancing Dental Stem Cell Potential Through Stem Cell Three-Dimensional Spheroid Culture to Promote Regeneration of the Pulp-Dentin Complex	6 か月 (チーム)	
駱 瑩	天津市第三中心医院肝胆疾病研究所・副研究員	大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 有機工業化学領域	松崎 典弥 教授
	Construction of three-dimensional multicellular co-culture model for liver tissue engineering	6 か月 (個人)	

日中笹川医学奨学金制度＜ポストドクターコース＞：第 45 期研究者

2025. 3. 31 現在

氏 名	共同研究機関（中国）	共同研究機関（日本）	指導責任者
	研 究 テ ー マ	専 門 分 野	
焦 丹丹	河南科技大学第一附属医院・主管看護師	筑波大学大学院人間総合科学学術院 国際発達ケア：エンパワメント科学研究室	安梅 勅江 教授
	エンパワメントに基づく看護師主導の慢性閉塞性肺疾患合併症患者の過渡期ケアモデルの構築と応用	看護学	
張 碧航 (※※)	自治医科大学・博士課程学生	自治医科大学大学院医学研究科 形成外科学	吉村 浩太郎 教授
	幹細胞培養上清成分を用いた再生医療の開発：糖尿病マウスの創傷治癒に対する幹細胞濃縮培養上清の効果	医学	
姚 利	千葉大学大学院看護学研究院・特任助教	千葉大学大学院看護学研究院 高齢社会実践看護学	正木 治恵 教授
	在留中国人高齢者の老いへの準備教育アプリケーションの開発	看護学	
張 飛	安徽医科大学第一附属医院・副主任医師	国立がん研究センター東病院消化管内科	設楽 紘平 科長
	胃癌における臨床データとバイオマーカー解析	医学	
寇 温	蘭州大学第一医院・主管薬剤師	城西国際大学薬学研究科 城西国際大学イノベーションベース	堀江 俊治 教授 杉山 雄一 特別荣誉教授
	試験管内で薬物輸送/代謝データを用いた PBPK モデリングに基づく 薬物肝クリアランスおよび複雑な薬物相互作用の定量的予測	薬学	
賀 渝森	中国医学科学院北京協和医院・医師	東京科学大学生命理工学院	丸山 厚 教授
	インテリジェントドラッグデリバリーシステムの開発	医学	
高 波	南京鼓楼医院・主治医師	新潟大学腎研究センター腎分子病態学	河内 裕 教授
	ネフローゼ症候群の病因、病態の解明	医学	
周 英	金沢大学人間社会環境研究科・博士課程学生	金沢大学医薬保健研究域保健学系	田中 浩二 教授
	日本における精神科医療通訳の実態と心理的体験	学術	
王 婷梅	华中科技大学同济医学院附属同济医院 主治医師	大阪公立大学大学院医学研究科 色素異常症治療開発共同研究部門	片山 一朗 特任教授
	尋常性白斑の発症機序究明と治療開発	医学	
汪 沙	首都医科大学附属北京婦産医院・助理研究員	鳥取大学	原田 省 副学長
	子宮内膜症と子宮腺筋症の病因に関する研究	医学	

※※日本の医師免許を取得し、ポストドク研究を継続できないため、第二年次（2025 年度）の助成を停止する。

日中笹川医学奨学金制度<ポストドクターコース>：第46期研究者

2025.03.31 現在

氏 名	共同研究機関（中国）	共同研究機関（日本）	指導責任者
	研究テーマ	専門分野	
李 宜諾	筑波大学附属病院・研究員	筑波大学附属病院放射線腫瘍科	櫻井 英幸 教授
	ナノファイバーメッシュを用いた BNCT 薬剤 BPA の包埋によるホウ素滞留性の向上に関する研究	医学	
孟 雪	中国医科大学附属盛京医院・主治医師	日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野	本田 一文 大学院教授
	がん微小環境に関わる分子メカニズムの解明と頭頸部がん治療の新たな分子標的の同定	医学	
王 召陽	首都医科大学附属北京儿童医院・副主任医師	順天堂大学大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター	高井 敏朗 教授
	環境プロテアーゼによる皮膚炎症および経皮感作の機序	医学	
黄 格娜	大連医科大学附属第二医院・副主任医師	国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 移植免疫研究室	李 小康 室長
	担癌モデルを用いた新規癌ワクチンの開発とその機序の解明	医学	
肖 士菊	首都医科大学附属北京中医医院・医師	大阪大学免疫学フロンティア研究センター	松岡 悠美 教授
	アトピー性皮膚炎モデル発症過程における細菌叢、ストレス応答の相互作用解析	医学	
徐 祥赫	中山大学附属第五医院・副研究員、医師	九州大学大学院医学研究院 細胞生理学分野	神吉 智丈 教授
	軟骨細胞におけるマイトファジー機能不全と老化との関係解明	医学	
王 宇昊	徐州医科大学附属医院・主治医師	熊本大学発生医学研究所 器官構築部門腎臓発生分野	西中村 隆一 教授
	尿流の確保による機能的腎臓オルガノイドの作製	医学	

日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第9期研修生

氏 名	所 属 機 関	受 け 入 れ 機 関	指導責任者
劉 雨蒙	中国医学科学院腫瘍医院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	永原 章仁 教授
	内視鏡科・主治医師	消化器内科	
饒 薇	中国医学科学院腫瘍医院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	八尾 隆史 教授
	病理科・主治医師	人体病理病態学	
李 隆松	中国人民解放军総医院第一医学センター	慶應義塾大学病院	矢作 直久 教授
	消化器内科・主治医師	腫瘍センター	
張 楠	中国人民解放军総医院第一医学センター	慶應義塾大学病院	金井弥栄 教授
	消化器内科・初級病理技師	病理学	
張 慶瑞	中日友好医院	東邦大学医療センター大森病院	松田 尚久 センター長
	消化器内科・主治医師	消化器センター内科センター	
蘇 運超	中日友好医院	東邦大学医療センター大森病院	栃木 直文 教授
	病理科・主治医師	病理診断科	
陳 輝	空軍軍医大学第一附属医院	がん研究会有明病院	斎藤 彰一 部長
	病理科・主治医師	下部消化管内科	
呉 建鋒	空軍軍医大学第一附属医院	がん研究会有明病院	河内 洋 部長
	病理科・主治医師	臨床病理センター病理部	
陸 超	浙江大学医学院附属第一医院	静岡県立静岡がんセンター	小野 裕之 病院長・部長
	消化器内科・副主任医師	内視鏡科	
馮 梅宝	浙江大学医学院附属第一医院	静岡県立静岡がんセンター	杉野 隆 部長
	病理科・主治医師	病理診断科	
李 淑芹	黒龍江省医院	東京大学医学部附属病院	角嶋 尚美 部長
	消化器一科・副主任医師	光学医療診療部	
田 思宇	黒龍江省医院	東京大学医学部附属病院	牛久 哲男 部長
	病理科・主治医師	病理部	

日中医学協会役員・委員会委員名簿（2025年3月31日現在、五十音順）

会長（代表理事）

小川 秀興 学校法人順天堂理事長

理事長（代表理事）

跡見 裕 学校法人跡見学園理事長

副会長

安達 勇 静岡県立静岡がんセンター参与
岩月 進 公益社団法人日本薬剤師会会長
住友 雅人 日本歯科医学会会長
高橋 英登 公益社団法人日本歯科医師会会長
松本 吉郎 公益社団法人日本医師会会長

評議員

一戸 達也 東京歯科大学学長
稲垣 暢也 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事長
今村 英仁 公益社団法人日本医師会常任理事
上坂 克彦 静岡県立静岡がんセンター総長
大友 克之 朝日大学学長
緒方 剛 茨城県潮来保健所長
緒方 晴彦 藤田医科大学東京 先端医療研究センター消化器内科学教授
小林 百代 公益社団法人日本薬剤師会理事
末瀬 一彦 公益社団法人日本歯科医師会常務理事
杉山 清 星薬科大学学長補佐
高木 俊明 テルモ株式会社代表取締役会長
高橋 和久 順天堂大学大学院医学研究科長・医学部長
高松 研 東邦大学名誉学長
田平 武 順天堂大学大学院客員教授
寺本 明 湘南医療大学副学長
根本 則道 日本大学名誉教授
松本 謙一 サクラグローバルホールディング株式会社代表取締役会長
山田 陽城 一般財団法人北里環境科学センター理事長

業務執行理事

新井 一 学校法人順天堂理事長補佐
尾身 茂 公益財団法人結核予防会理事長
春日 雅人 公益財団法人朝日生命成人病研究所所長
日比 紀文 北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター特別顧問

理事

安達 勇 静岡県立静岡がんセンター参与
角田 徹 公益社団法人日本医師会副会長
加藤 照和 株式会社ツムラ代表取締役社長 CEO

國土 典宏	国立健康危機管理研究機構理事長
高折 晃史	京都大学医学部附属病院院長
手代木 功	塩野義製薬株式会社代表取締役会長兼社長 CEO
永田 良一	株式会社新日本科学代表取締役会長兼社長 CEO
林崎 良英	株式会社ダナフォーム代表取締役
眞鍋 淳	第一三共株式会社代表取締役会長兼 CEO
宮島 俊彦	日本製薬団体連合会理事長
山下 俊一	福島県立医科大学理事長特別補佐・副学長

監 事

金井 正義	公認会計士
三宅 養三	名古屋大学名誉教授

顧 問

趙 群	笹川医学奨学金進修生同学会理事長
前田 佳子	公益社団法人日本女医会会長

広報委員会

委 員 長	緒方 剛	評議員、茨城県潮来保健所長
委 員	袁 博	城西大学薬学部薬品作用学研究室教授
	志賀 剛	東京慈恵会医科大学臨床薬理学教授
	関根 秀志	東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学教授
	喬 炎	長野県看護大学人間基礎科学講座（基礎医学・疾病学）教授
	内藤 俊夫	順天堂大学医学部総合診療科学講座教授
	野澤 宏彰	東京大学医学部腫瘍外科准教授
	八田早恵子	名古屋学芸大学看護学部看護学科准教授
	樋野 興夫	順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長
	李 小康	国立成育医療研究センター移植免疫研究室長
専門委員	飯塚 陽子	東京大学医学部附属病院国際検診センター長
	上塚 芳郎	一般財団法人松本財団顧問
	新谷 誠康	東京歯科大学小児歯科学主任教授
	須並 英二	杏林大学外科学（消化器・一般外科）教授
	範 江林	山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学名誉教授
	樋口まち子	前国立看護大学国際看護学教授
	山田 陽城	評議員、一般財団法人北里環境科学センター理事長

日中医学（日中医学協会－日本財団）協力委員会

委 員 長	林崎 良英	理事、株式会社ダナフォーム代表取締役
委 員	川口 陽子	日本歯科医学会副会長、東京科学大学名誉教授
	稲垣 暢也	評議員、公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事長
	國土 典宏	理事、国立健康危機管理研究機構理事長
専門委員	荒木 孝二	東京科学大学名誉教授
	影山 幾男	日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学教授

共同研究等選考委員会

委員長	高松 研	評議員、東邦大学名誉学長
委員	大友 克之	評議員、朝日大学学長
	高折 晃史	理事、京都大学医学部附属病院院長
	高橋 和久	評議員、順天堂大学大学院医学研究科長・医学部長
	堤 治	山王病院名誉院長
	原 英夫	福岡国際医療福祉大学学長
	樋口まち子	前国立看護大学国際看護学教授
	安井 正人	慶應義塾大学医学部薬理学教授
	山本康次郎	群馬大学医学部附属病院薬剤部長・教授
	山田 陽城	評議員、一般財団法人北里環境科学センター理事長
専門委員	荒木 孝二	東京科学大学名誉教授
	影山 幾男	日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学教授
	金井 Pak 雅子	関東学院大学客員研究員
	杉山 清	評議員、星薬科大学学長補佐
	田平 武	評議員、順天堂大学大学院客員教授
	星合 昊	近畿大学名誉教授
	安原 真人	帝京大学薬学部特任教授

日中医療交流（内視鏡等）委員会

委員長	日比 紀文	業務執行理事、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先端治療センター特別顧問
委員	五十嵐良典	東邦大学医療センター大森病院消化器内科特任教授
	小野 裕之	静岡県立静岡がんセンター院長、内視鏡科部長
	草野 央	北里大学医学部消化器内科学主任教授
	小嶋 基寛	国立がん研究センター先端医療開発センター臨床腫瘍病理分野ユニット長
	斎藤 彰一	公益財団法人がん研究会有明病院下部消化管内科部長
	八尾 隆史	順天堂大学大学院医学研究科人体病理病態学主任教授
専門委員	五十嵐正広	公益財団法人がん研究会有明病院下部消化管内科顧問
	田邊 聡	北里大学医学部客員教授

日中医療交流（学術等）委員会

委員長	春日 雅人	業務執行理事、公益財団法人朝日生命成人病研究所所長
委員	大友 克之	評議員、朝日大学学長
	高橋 和久	評議員、順天堂大学大学院医学研究科長・医学部長
	永田 良一	理事、株式会社新日本科学代表取締役会長兼社長 CEO

2024 年度事業報告附属明細書
公益財団法人日中医学協会
T E L 0 3 - 5 8 2 9 - 9 1 2 3
F A X 0 3 - 3 8 6 6 - 9 0 8 0
発行日 2025 年 5 月 20 日
発行人 跡見 裕
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-3
住 泉 K M ビ ル 6 階